平成２２年度　日本作業療法士協会
作業療法推進活動パイロット事業助成制度

「神奈川県におけるALS者のコミュニケーション障害に対する当事者，作業療法士，他の医療・福祉関連職からなる支援体制整備」

一般社団法人　神奈川県作業療法士会
地域リハビリテーション部
木村　修介

一般社団法人神奈川県作業療法士会

財務部	規約委員会
学術部	福祉用具委員会
教育部	社会保障制度対策委員会
広報部	ウェブサイト管理委員会
福利部	学会評議委員会
地域リハビリテーション部	企画調整委員会

青字:事業協力部・委員会

地域リハビリテーション部の活動

（１）研修担当

１）「OT・PSW合同研修会」

２）「訪問リハ実務者研修会」

（２）普及担当

１）就労支援パンフレット作成

２）認知症の作業療法を普及するための取材活動

３）コミュニケーション支援の普及活動（パイロット事業）

（３）調査担当

１）特別支援学校を中心としたタウンミーティングの有効性を調査

２）認知症の作業療法の実態把握調査

３）訪問リハビリテーション事業所の調査

４）障がい者団体の活動調査

事業開始の経緯

日本ALS協会神奈川県支部との連携

当事者・家族の意見収集，情報交換
→ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝに問題を抱えている方が多い
→ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ援助に関するOTに対しての期待の少なさ
→OTの認知度の低さ　「どんなことをする職業なのか？」
→相談する場が少ない，わからない

事業開始の経緯

2009年度～　日本ALS協会神奈川県支部との連携

2009年下期～　パイロット事業申込

2010年度～　パイロット事業開始

事業目的

①ALS当事者家族に対し，OTがおこなう講習会などを通じて重度障害を抱えても可能なｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ手段を紹介する

②ALS当事者に関わるOTなど医療福祉従事者に対しｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ援助技術を中心としたOTアプローチを啓蒙する

③①②をもって，地域におけるALSのｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ障害に対するOTを中心とした他職種による支援体制を構築する

事業スケジュール

	ミーティング	講習会
４／８	第１回	
７／１２	第２回	
７／１７		第１回（小田原）
８／２１		第２回（横浜）
９／４		第３回（相模原）
１１／１５	第３回	

講習会内容

対象：作業療法士,その他の医療福祉従事者,ALS当事者, 家族

時間：14：00～16：30（2時間30分）

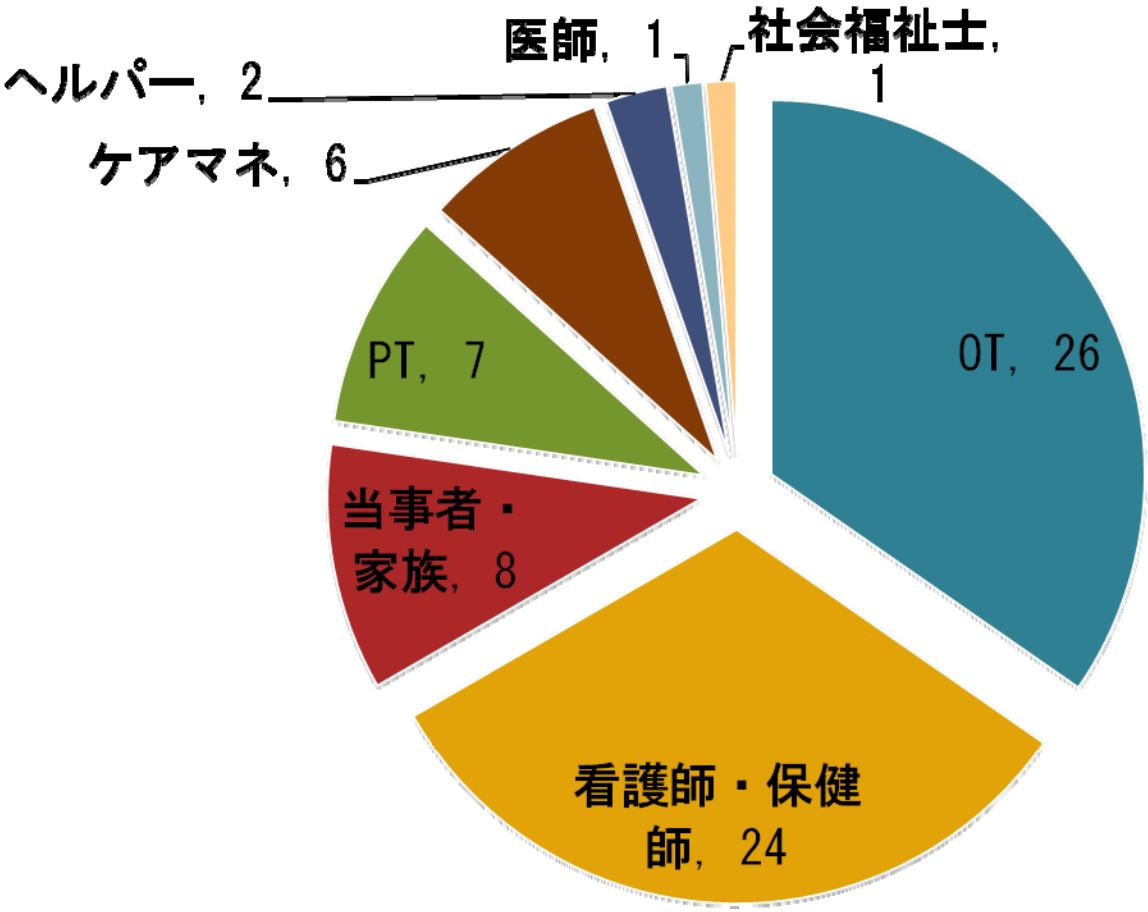
講義：意思伝達装置および入力スイッチの特徴と使用方法の説明，　機器導入の手続きや制度に関する説明

実習：意思伝達装置および入力スイッチの操作体験

使用機器類
意思伝達装置：「伝の心」「レッツチャット」
入力スイッチ：「押しボタンスイッチ」「タッチセンサスイッチ」「ニューマティックセンサスイッチ」「ピエゾセンサスイッチ」「EOG（眼電）センサスイッチ」

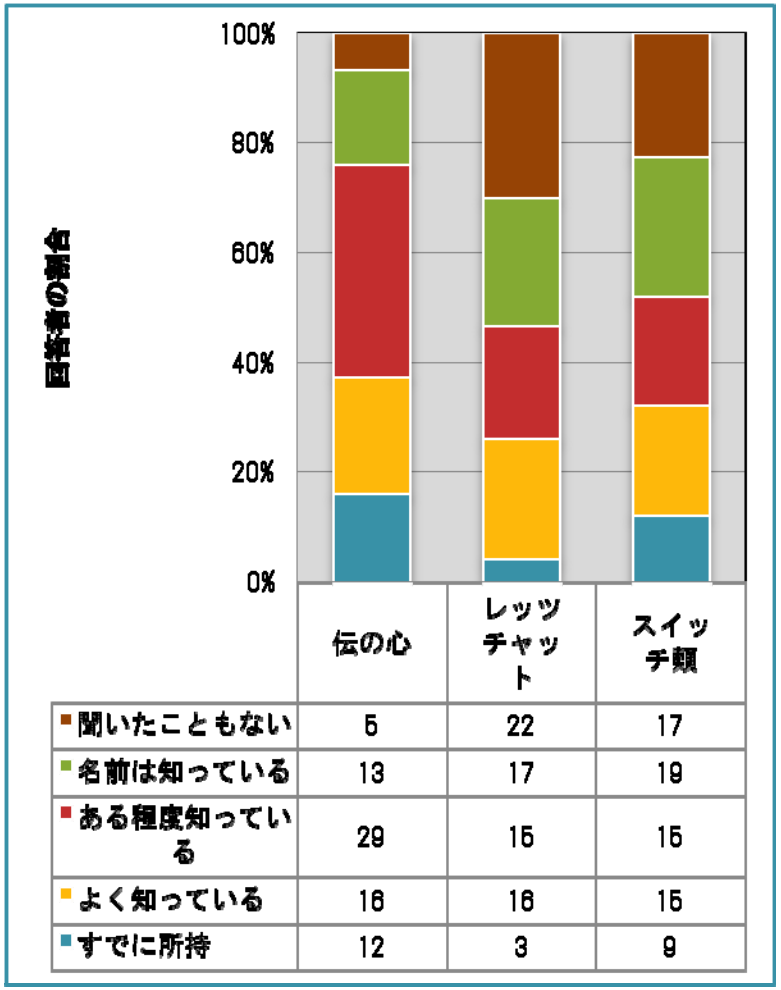
講習会実施状況

講習会参加者

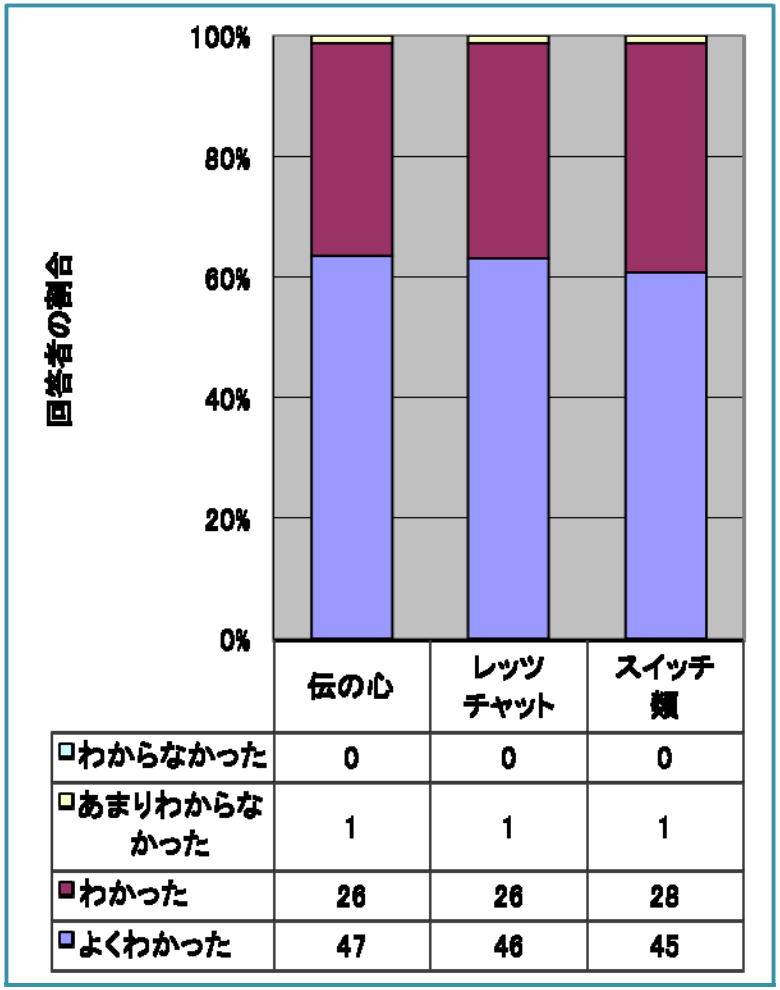


アンケート結果

Q. 機器の認知度（講習会前）

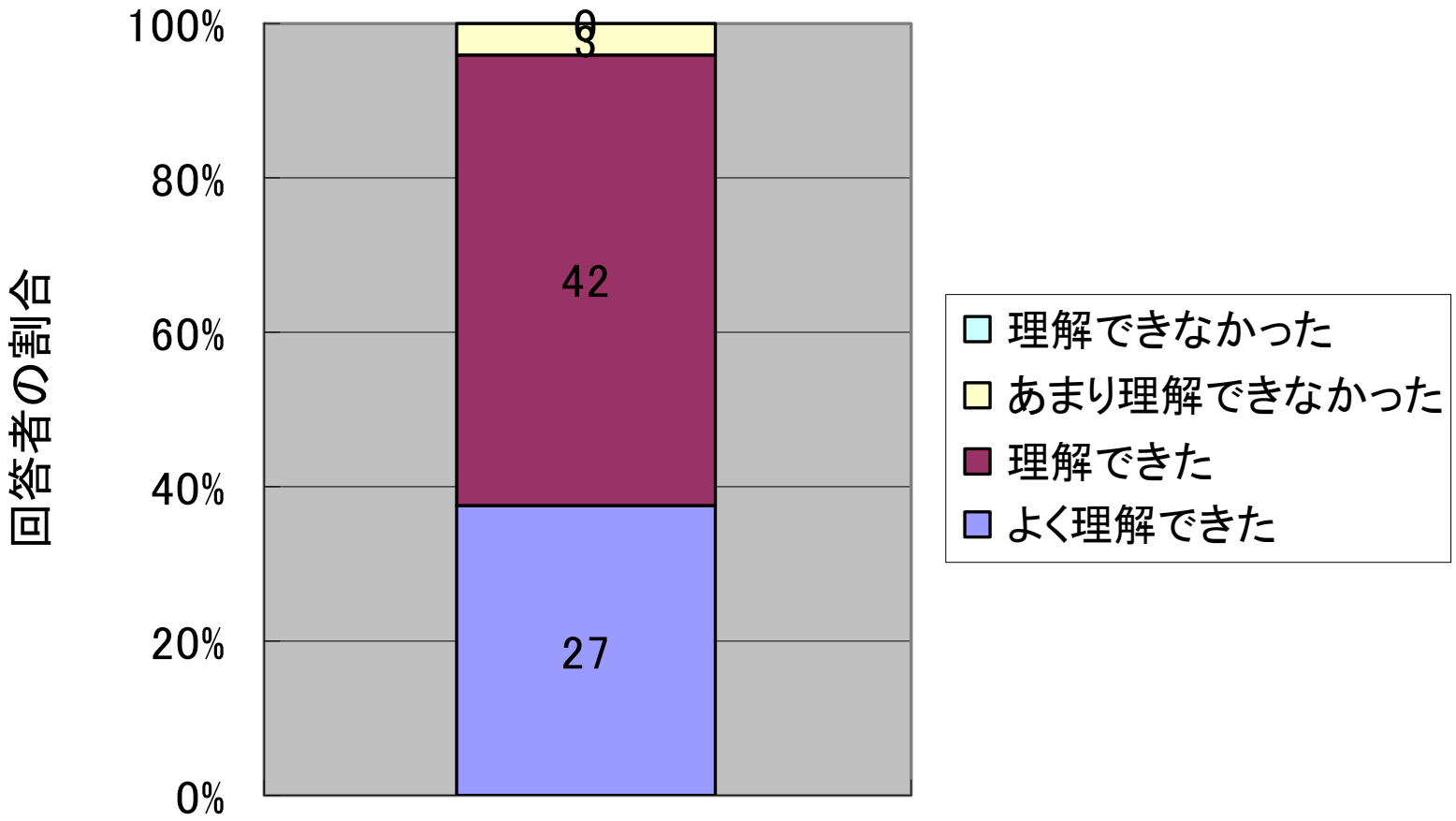


Q. 機器についての理解度（講習会後）



アンケート結果２

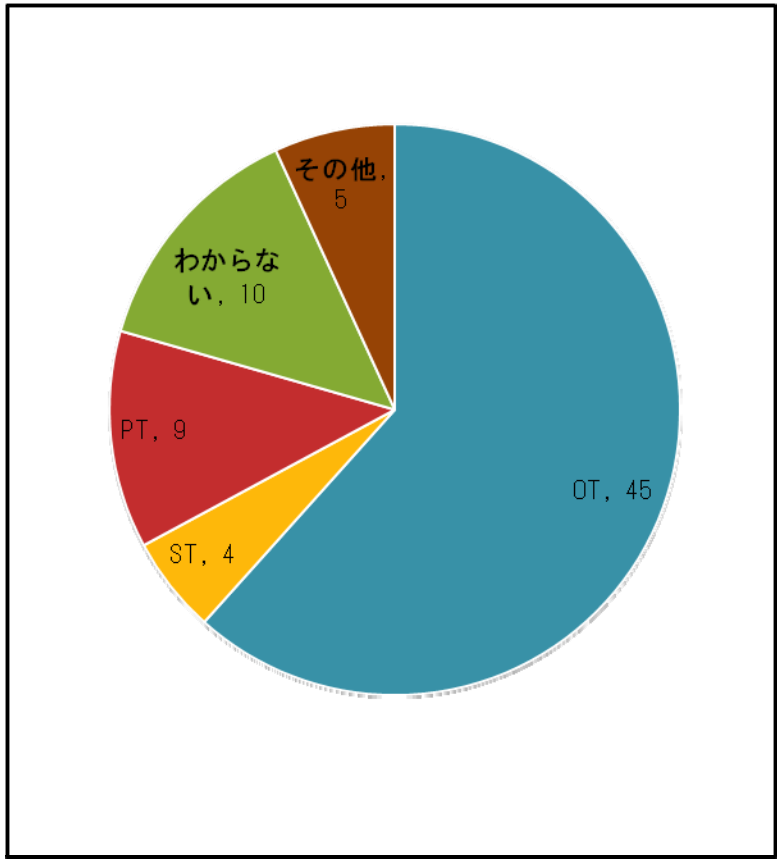
Q. コミュニケーション機器導入までの流れを理解できたかどうか？



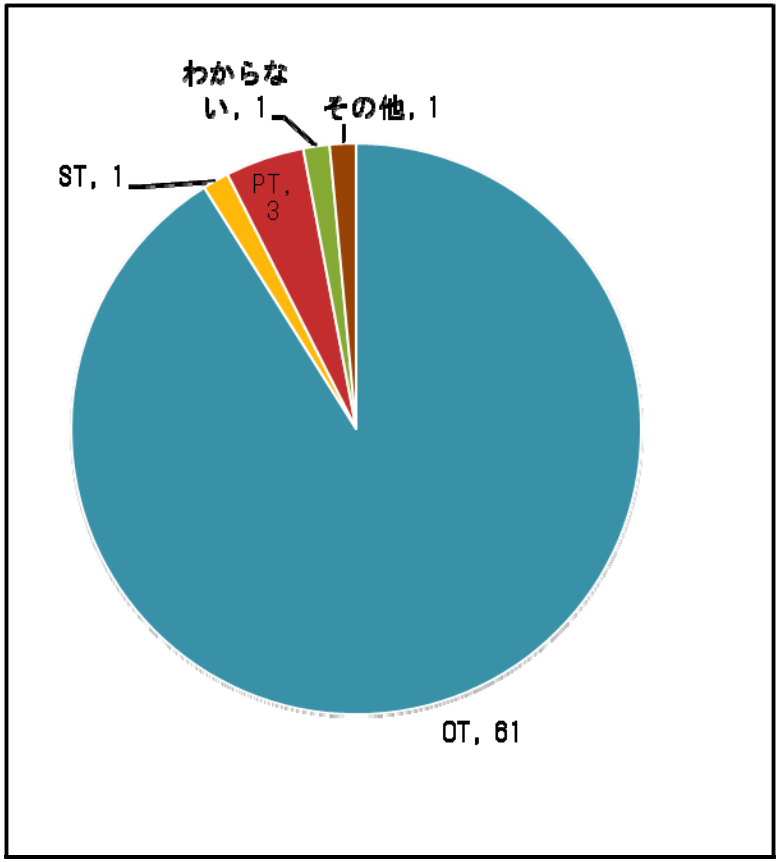
アンケート結果３

Q. コミュニケーション支援について頼れると思う職種

【講習会前】



【講習会後】



アンケート結果４

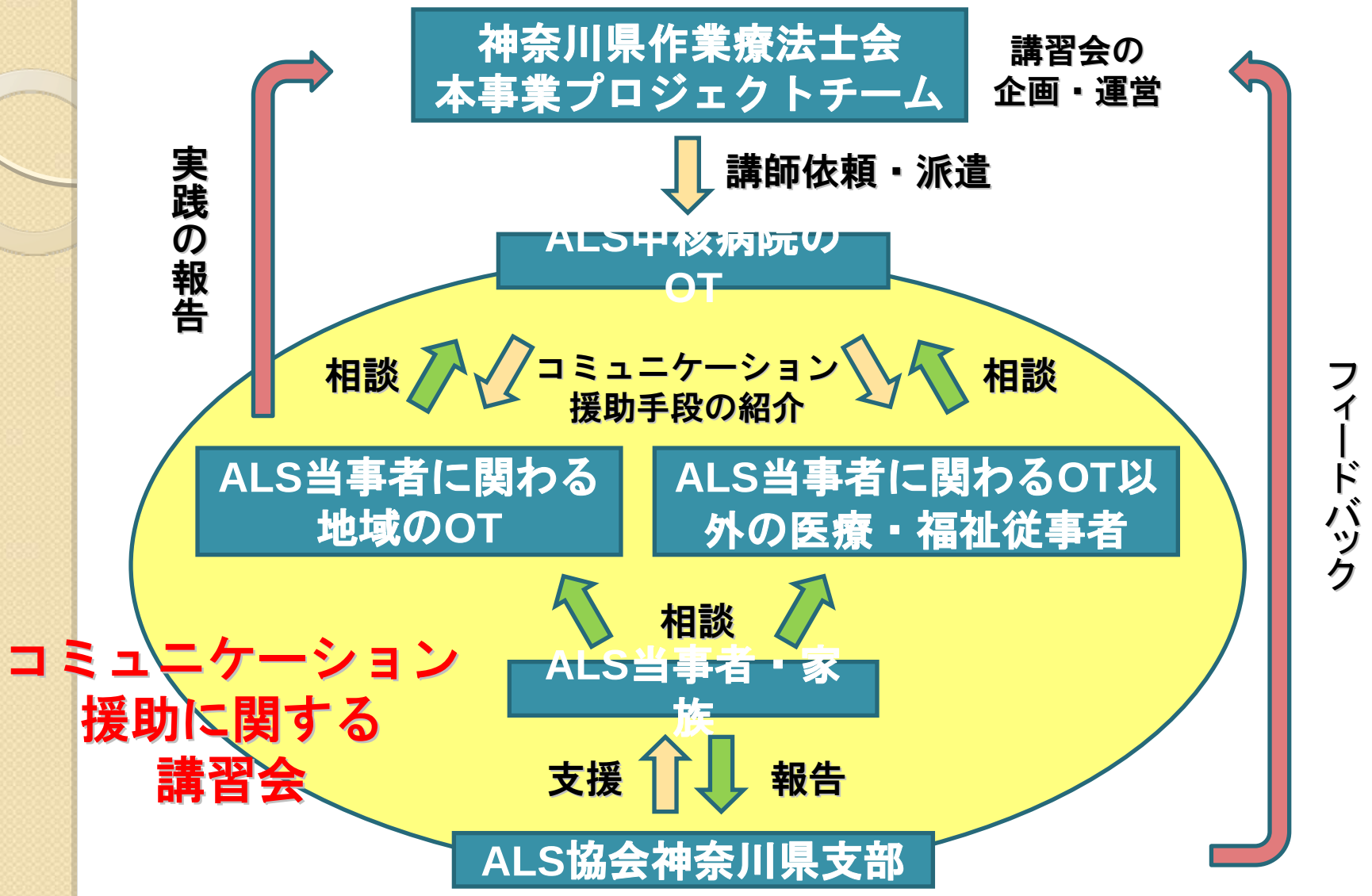
≪要望≫

- ALSの場合は患者,家族が熟知している．出来れば分離せずにした方が良いと思う．
- 機器の購入に限らず，OTさんの役割は大きいと感じました．スイッチの選択は大変勉強になりました．在宅の方にOTさんが同行できるシステムがあればよいと思いました．メーリングリストがあるとの事で，大変助かります．

≪感想≫

- メーリングリストを活用させて頂きたいと思います（2名）．
- フォローアップ，よろしくお願いします．
- フォローアップ，心強いです．ALS者4ケースを担当しています．今後の支援に生かせそうです．どうもありがとうございました．
- 説明，体験ともに非常にわかりやすかったです．ありがとうございました．
- 大変参考になりました．ありがとうございました．
- とっても勉強になりました．ありがとうございました！
- ALS使用者を担当しているのでとても役に立ちました．本人・介護者にとっても心強い支援と思います．

支援体制


神奈川県作業療法士会
本事業プロジェクトチーム
講習会の
企画・運営
講師依頼・派遣
実践の報告
ALS中核病院の
OT
相談
コミュニケーション
援助手段の紹介
相談
フィードバック
ALS当事者に関わる
地域のOT
ALS当事者に関わるOT以
外の医療・福祉従事者
相談
ALS当事者・家
族
コミュニケーション
援助に関する
講習会
支援
報告
ALS協会神奈川県支部

支援体制

≪メーリングリスト登録≫
登録者：２０名

≪講習会開催６ヶ月後のアンケート調査≫
機器の導入：３例（内２名業務範疇）

≪電話調査≫
６ヶ月後アンケートに返信された方の中から
２例のみ実施

事業経費

今回の事業では100万円以上の予算を計上したが、その多くが機器購入のための予算であり、支援体制整備には通常の講習会開催に要する予算で賄える。

普及可能性

- 余裕のある事業スケジュールである
- 少人数でのスタッフで運営可能
- 通常の講習会開催予算で運営が可能
- 日本ALS協会各支部との連携が可能
- すでに普及されている機器で講習会が可能
- 現職者研修などに組み込むことでOTのベーシックな技術にすることが可能

↓

他の都道府県士会での開催可能性↑

平成２３年度事業内容

２２年度「支援体制の整備」

→ ２３年度「支援体制の実践」

- ✓ 支援体制が途切れることなく円滑に機能するための運営システムの工夫
- ✓ 他都道府県の普及可能性を更に高めるために，支援体制整備の手順と方法を冊子にまとめる

http://kana-ot.jp/
一般社団法人神奈川県作業療法士会ウェブサイト内
『ALS支援ブログ@KAOT』

ALS支援ブログ@KAOT

kana-ot.jp/wp/pilot/

ALS支援ブログ@KAOT

ALSの方を支援している方々を支援します！

■講習会情報２

キムッチ (2011.06.14 18:04) | 講習会案内 | 個別ページ | コメントはまだありません

昨年度の講習会では

①伝の心

②レッツチャット

③各種スイッチ

を紹介させていただきました。

今年度は上記に加え

視線入力意思伝達装置「マイトビー」を紹介する予定です。

高額な製品なため、公費での助成がまだまだ得られにくいようですが、

OTとして知っておくことは必要だと思います！！

今年の全国学会でも視線入力意思伝達装置の演題がいくつかあがっていましたよ。

ブログ趣旨

2010年から開始したパイロット事業．神奈川県内のALS当事者とその家族，およびALS支援者のために講習会の開催や情報発信をおこなっております．間接的な関わりですが，温かい支援を育めるように努力しています．

カテゴリー

- 最新情報 (1)
- 講習会案内 (2)
- コミュニケーション関連 (0)
- 医療機器 (0)

月別記事

- 2011年6月

まとめ

ALS等の疾患に関わるOTは特定の施設に限局しているため、その技術が普及する機会が少ない現状にある。

また在宅療養されるALS等の方々に対して身近に勤務しているOTが少ない現状である。

他職種をも含めたｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ障害に対する支援体制を構築することにより、在宅ALS者に質の高いサービスを提供できるだけではなく、OT技術を普及し、地域
におけるOTニーズを高める効果も期待できる。